

先日（5月30日）、水神祭に富士学校を代表して参列した。この水神祭は、演習場内に水源を有する北部5河川協議会の主催する安全祈願祭であって、水神宮の御前において、豊かな富士の恵みに感謝し、未来永劫に絶えることなく、田畑を潤し、人々の生命を維持し、そして水に関する諸災厄から組合員を御加護して貰うことを祈願するお祈りである。毎年この時期に実施している。富士駐屯地と滝ヶ原駐屯地は、これらの水源を使用させて頂いている関係で水神祭には参加している。

因みに北部5河川水利組合とは、柳沢、大日堂抜川、大日堂木の根抜川、五郎作川、前川水利組合である。5組合の組合員数は、約450名にのぼる。

一般論であるが、この水利権を巡って血の雨が降ったこともあるという話もある位に水利権というのは難しい問題だそう。流石に現代では血の雨が降るようなことはなかろう。問題解決のシステムが出来上がっているものと確信する。

さて、水神祭は、「修祓」「降神の儀」「献饌」「祝詞奏上」「清祓」「玉串奉奠」「撤饌」「昇神の儀」の一連の儀式の後、直会（神酒拝載）で終了する。女性の宮司の方であった。今年は殊の外祝詞の内容が良かったとの評判であった。原水を飲んでみた。富士の伏流水のまろやかさを感じた次第。水神祭の一端と水源の状況を写真で確認して下さい。

